

うまいべい通信

2019年6月18日号

【通信担当】鈴木幸子

6

June

イチマン・サンビャク・ゴジュウイチ（10,351枚）これは5月に田植えを終えた稲の苗を育てた箱（ポート）の枚数です。

今年「古希」を迎える私達ですが、これまで米作りをしてきて最も多い数です。機能が低下した 体の負担を減らせればと「無代掻き栽培」（無代掻き田植えは、耕耘碎土後、入水し、しばらく放置し代掻きを行わずに田植えを行う栽培法→汚れた水を放出しないので環境にもやさしいとされている）も一部取り入れましたが、初めての事なのでなかなか思うようにはいかず、次への課題が山積みしています。

田植えを終えた田んぼは天候に恵まれ、いっそう緑鮮やかになっています。夜ともなれば、あちらこちらからカエルの合唱が聞こえてきます。

一般の交通網が整備され、函館ー今金間は2時間を切る程になりました。

どうぞ時間をつくりだして今金までお出かけください。

心と体のリフレッシュと運が良ければ採れたての野菜も・

お待ちしております！

